

2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月13日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 中島 崇 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	32,076	8.9	370	△73.4	△66	—	△94	—
2022年5月期第3四半期	29,460	18.4	1,392	163.2	1,178	300.3	825	450.9

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 △52百万円 (—%) 2022年5月期第3四半期 865百万円 (419.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	△64.92	—
2022年5月期第3四半期	566.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	40,091	7,491	17.4	4,778.76
2022年5月期	33,318	7,779	21.9	5,003.32

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 6,967百万円 2022年5月期 7,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	161.00	161.00
2023年5月期	—	0.00	—		
2023年5月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,600	3.1	800	△46.4	300	△77.8	160	△82.9	109.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期3Q	1,480,000株	2022年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	21,900株	2022年5月期	21,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期3Q	1,458,083株	2022年5月期3Q	1,458,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2023年2月28日）の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

当社の主たる事業エリアである愛知県の地価は住宅地及び商業地ともに上昇傾向となりました。

一方で、新設住宅着工戸数は総じて前年比減少して推移する等、建売分譲における市況は厳しい状況となりました。

建設資材価格の高騰による販売価格への転嫁、物価上昇等による消費者の購入マインドの低下により、住宅市場全体で契約率が低下し、販売用在庫が高い水準で推移する等、販売競争はより一層激化しております。

② 当社の取り組み

- ・東海エリアにおけるシェア拡大に向け、建売分譲用地の取得に注力するとともに、建売分譲のみならず当社の強みである「商品住宅」を活かして売建・注文住宅市場への積極展開を図ってまいりました。
- ・2022年11月、「地球品質・サステイナブルデザイン」をコンセプトとした新商品「地球世代」モデルハウスを名古屋市守山区にオープンいたしました。地球環境に配慮した商品提供を行うことにより、未来に繋がる社会の実現に向けて取り組んでおります。
- ・長期優良住宅認定及び太陽光発電システムを搭載したZEH住宅（商品名 style:N_ZEH）の販売を開始しました。高性能な住宅をリーズナブルな価格で提供することにより、戸建住宅市場でのシェア拡大に注力しました。
- ・「住みかえSHOP」の愛知県全域での店舗拡充を進め、顧客接点を強化するとともに細やかなサービスの提供や地域のニーズに寄り添った商品の開発を行い、顧客満足度の向上に努めました。2023年4月には三河エリアの旗艦店として愛知県刈谷市にモデルハウス併設型の「住みかえSHOP 刈谷店」をオープンする予定です。
- ・HOTEL WOOD高山にて、高山の文化や地元産業を体験できる酒蔵見学等のツアーを開催しております。ラウンジスペースでの利き酒サービスは多くのお客様にご好評いただいております。また、高山での思い出を持ち帰っていただきたいとの思いから、オリジナル地酒「上二」の販売を開始しました。

③ 環境への取り組み

当社は「環境への取り組み」を企業の継続的な発展生存のテーマと位置付け、「木質資源カスケード事業」を軸に国産木資源の積極的な利用を推進しております。現在は、原木の安定的かつ持続可能な供給体制の確立に向け、森林の確保及び森林管理の外部アライアンスの構築等に注力しております。

④ 当第3四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期実績	32,076百万円	370百万円	△66百万円	△94百万円
前年同期比	8.9%増	73.4%減	—	—

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第3四半期実績	772戸	728戸	2棟 44戸
前年同期実績	697戸	697戸	—
前期実績(通期)	1,004戸	1,004戸	—

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	29,129百万円	501百万円	販売戸数は増加したものの、建設資材価格の高騰等によりセグメント利益が減少。
前年同期比	6.0%増	69.6%減	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	1,876百万円	406百万円	ゴルフ場運営による収益が堅調に推移し、売上高及びセグメント利益が増加。
前年同期比	8.2%増	15.7%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	1,132百万円	95百万円	集合住宅(収益不動産)2棟の販売が実現し、売上高及びセグメント利益は大幅に増加。
前年同期比	297.2%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な要因
当第3四半期実績	12百万円	7百万円	—
前年同期比	0.0%増	6.3%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して6,772百万円増加し、40,091百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の増加に伴う借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して7,060百万円増加し、32,599百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比較して287百万円減少し、7,491百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月13日に公表した通期の連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,692,398	3,088,634
完成工事未収入金	26,209	11,480
売掛金	536,389	235,528
販売用不動産	8,140,006	14,089,027
仕掛販売用不動産	8,601,965	10,206,866
商品及び製品	897,007	861,728
未成工事支出金	2,770,092	3,055,609
仕掛品	368,201	374,000
原材料	1,068,459	809,322
貸倒引当金	—	△8,484
その他	1,024,024	930,453
流動資産合計	28,124,754	33,654,168
固定資産		
有形固定資産	4,434,701	5,524,119
無形固定資産	101,832	163,185
投資その他の資産	657,628	750,343
固定資産合計	5,194,162	6,437,649
資産合計	33,318,917	40,091,817
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,686,835	2,221,036
買掛金	1,406,158	577,471
1年内償還予定の社債	477,400	521,400
短期借入金	11,992,661	18,818,441
1年内返済予定の長期借入金	1,248,565	1,241,753
匿名組合預り金	192,940	241,680
未払法人税等	233,177	92,238
賞与引当金	247,034	74,889
役員賞与引当金	35,375	—
完成工事補償引当金	119,598	113,060
その他	823,811	871,770
流動負債合計	19,463,559	24,773,740
固定負債		
社債	1,575,600	1,244,200
長期借入金	3,018,835	5,023,992
退職給付に係る負債	2,878	3,954
役員退職慰労引当金	171,690	178,084
資産除去債務	75,368	90,529
その他	1,231,306	1,285,356
固定負債合計	6,075,679	7,826,116
負債合計	25,539,239	32,599,857

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	6,772,992	6,443,576
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	7,294,879	6,965,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	2,457
その他の包括利益累計額合計	377	2,457
非支配株主持分	484,421	524,040
純資産合計	7,779,677	7,491,960
負債純資産合計	33,318,917	40,091,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	29,460,567	32,076,659
売上原価	25,179,670	28,494,764
売上総利益	4,280,897	3,581,894
販売費及び一般管理費	2,888,056	3,211,346
営業利益	1,392,841	370,547
営業外収益		
受取利息	1,171	1,172
受取手数料	8,483	8,985
違約金収入	—	11,490
助成金収入	11,631	1,026
その他	16,424	23,862
営業外収益合計	37,710	46,536
営業外費用		
支払利息	186,771	287,224
資金調達費用	10,905	168,924
その他	54,456	27,062
営業外費用合計	252,133	483,211
経常利益又は経常損失(△)	1,178,417	△66,126
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
減損損失	81,350	—
固定資産除却損	0	688
特別損失合計	81,350	688
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,097,067	△66,805
法人税等	232,991	△11,759
四半期純利益又は四半期純損失(△)	864,076	△55,045
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,644	39,619
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	825,431	△94,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	864,076	△55,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,209	2,080
その他の包括利益合計	1,209	2,080
四半期包括利益	865,285	△52,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	826,641	△92,585
非支配株主に係る四半期包括利益	38,644	39,619

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)「余暇事業 HOTEL WOOD高山における固定資産の減損」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大や収束を含む仮定について重要な変更はありません。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、会計上の見積りの前提が大きく乖離する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高							
分譲住宅及び土地	23,304,703	—	—	—	23,304,703	—	23,304,703
注文住宅	1,139,175	—	—	—	1,139,175	—	1,139,175
建設資材	2,309,025	—	—	—	2,309,025	—	2,309,025
リフォーム	264,874	—	—	—	264,874	—	264,874
施設利用料	—	1,589,142	—	—	1,589,142	—	1,589,142
その他	450,020	142,751	171,189	—	763,962	—	763,962
顧客との契約から 生じる収益	27,467,799	1,731,894	171,199	—	29,370,892	—	29,370,892
その他の収益 (注) 3	—	—	77,049	12,625	89,675	—	89,675
外部顧客への売上高	27,467,799	1,731,894	248,248	12,625	29,460,567	—	29,460,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,092	2,885	37,453	—	50,431	△50,431	—
計	27,477,891	1,734,779	285,702	12,625	29,510,999	△50,431	29,460,567
セグメント利益又は 損失 (△)	1,648,454	351,210	△18,011	6,908	1,988,561	△595,720	1,392,841

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△595,720千円には、セグメント間取引消去15,847千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△611,568千円が含まれています。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸料収入等であります。

4 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高							
分譲住宅及び土地	25,302,409	—	—	—	25,302,409	—	25,302,409
注文住宅	1,634,117	—	—	—	1,634,117	—	1,634,117
建設資材	1,464,049	—	—	—	1,464,049	—	1,464,049
リフォーム	334,815	—	—	—	334,815	—	334,815
施設利用料	—	1,733,219	—	—	1,733,219	—	1,733,219
収益不動産	—	—	817,338	—	817,338	—	817,338
その他	344,072	142,909	191,486	—	678,467	—	678,467
顧客との契約から 生じる収益	29,079,463	1,876,128	1,008,825	—	31,964,417	—	31,964,417
その他の収益 (注) 3	—	—	99,615	12,625	112,241	—	112,241
外部顧客への売上高	29,079,463	1,876,128	1,108,441	12,625	32,076,659	—	32,076,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,400	135	24,536	—	75,071	△75,071	—
計	29,129,863	1,876,264	1,132,977	12,625	32,151,730	△75,071	32,076,659
セグメント利益 (△)	501,304	406,275	95,063	7,344	1,009,987	△639,440	370,547

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△639,440千円には、セグメント間取引消去2,948千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△642,389千円が含まれています。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸料収入等であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、棚卸資産の取得を進めたこと及び製材工場に係る土地取得等により、住宅事業セグメントで前連結会計年度末と比較し、9,145,688千円増加しております。